

- 学習のねらい・目標
- ・エンジンで発生した動力を有効に駆動輪に伝達する動力伝達装置の構造と働きについて、「自動車工学1」の第2章で指導した自動車の原理を導入しながら理解させる。
  - ・摩擦クラッチの構造、クラッチの操作機構とその作動について理解させる。
  - ・マニュアルトランスミッションの構造・作動、トランスミッションの操作機構の原理・構造・作動について理解させる。
  - ・オートマチックトランスミッションの原理・構造・作動について理解させる。
  - ・プロペラシャフトおよび終減速装置などの構造と働きについて理解させる。

学習評価の観点	評価基準	目標	A	B	C
知識 技術	各種の動力伝達装置についての基本的な知識を身につけ、その動作原理・特徴および動力伝達経路を理解し、実習などで観察し、実際に活用できる能力と態度が身についている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンで発生した動力を有効に駆動輪に伝達する動力伝達装置の構造と働きについて、「自動車工学1」の第2章で指導した自動車の原理を導入しながら理解している。</li> <li>・マニュアルトランスミッションおよびオートマチックトランスミッションの構造・作動、トランスミッションの操作機構の原理・構造・作動について理解している。</li> </ul>	マニュアルトランスミッションおよびオートマチックトランスミッションに関連する部品名および作動や働きが答えられる。	マニュアルトランスミッションおよびオートマチックトランスミッションに関連する部品名が答えられる。	マニュアルトランスミッションおよびオートマチックトランスミッションに関連する部品名が答えられない。
思考 判断 表現	動力伝達装置の構造・機能および変速比・減速比などについて、自ら思考を深め、最適な数値処理を活用し、適切な判断に基づいて創意工夫しながら数値処理を行う能力が身についている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルトランスミッションおよびオートマチックトランスミッションの原理・構造・作動について判断できる。</li> <li>・プロペラシャフトおよび終減速装置などの構造と働きについて説明できる。</li> </ul>	<p>マニュアルトランスミッションとオートマチックトランスミッションの違いが判断でき、作動について説明できる。</p> <p>プロペラシャフト及び主減速装置の働きが説明でき、減速比の計算ができる。</p>	マニュアルトランスミッションとオートマチックトランスミッションの違いが判断できる。	マニュアルトランスミッションとオートマチックトランスミッションの違いが判断できない。
主体的に 学習に 取り組む態度	自動車用エンジンで発生した動力を有効に駆動輪に伝達する動力伝達装置の構造・作動について関心を持ち、意欲的に探究するとともに、主体的に学習に取り組む態度が身についている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルトランスミッション・オートマチックトランスミッション・プロペラシャフトおよび終減速装置などの構造・作動、トランスミッションの操作機構の原理・構造・作動について関心を持ち、自主的に、学習に取り組むことができる。</li> </ul>	伝達装置に強く関心を持ち、新たな技術についても積極的に学習に取り組むことができる。	伝達装置に対し、関心を持ち、自主的に取り組むことができる。	学習に対して消極的である。